

* 前期比：D I・季節調整済

景況

業況は、旅館・その他の宿泊所業、その他サービス業で悪化傾向を強め、情報サービス・調査・広告業は横ばいとなりました。一方、娯楽業、自動車整備・駐車場業で大きく悪化傾向を弱め、洗濯・理容・浴場業で悪化傾向を弱めました。全体としては-50と4ポイント悪化傾向を弱めました。売上額は2ポイント悪化傾向を強め、収益は1ポイントわずかに悪化傾向を弱めました。価格面では、料金価格は1ポイントわずかに下降傾向を弱め、材料価格は10ポイント上昇傾向を強めました。資金繰りは13ポイント窮屈感を弱めました。残業時間は4ポイント減少傾向を強め、人手はほぼ適正となりました。設備の状況は3ポイント不足感を強め、設備投資については、機械設備の更改を中心に26%と前期比6ポイント減少しました。

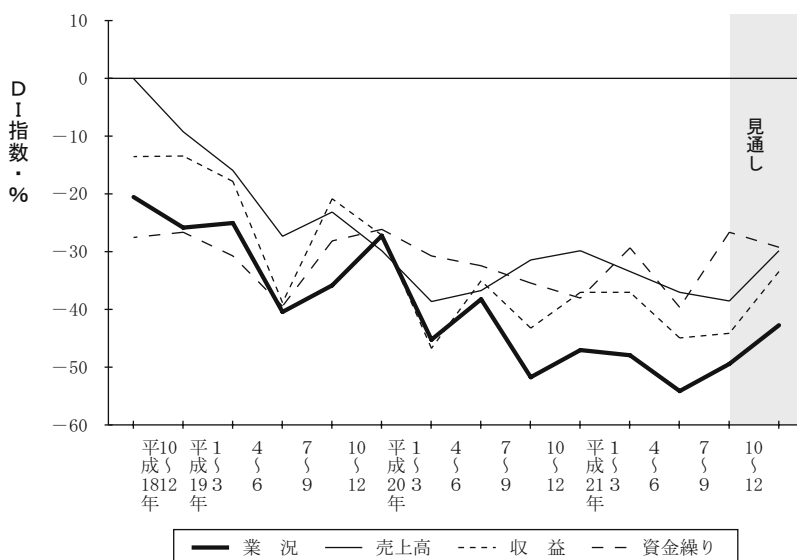
来期の見通し

業況は、洗濯・理容・浴場業、娯楽業、自動車整備・駐車場業で悪化傾向を強めるとみています。一方、情報サービス・調査・広告業、旅館・その他の宿泊所業は大きく悪化傾向を弱め、その他のサービス業も悪化傾向を弱めるとみており、全体的には-43と7ポイント悪化傾向を弱めそうです。売上額は9ポイント、収益は10ポイント悪化傾向を弱めるとみています。価格面では、料金価格は5ポイント下降傾向を強め、材料価格は6ポイント上昇傾向を弱めそうです。資金繰りは2ポイント窮屈感が強まるとみています。残業時間は7ポイント減少傾向を弱め、人手は4ポイント不足感が強まりそうです。設備の状況は6ポイント不足感を強め、設備投資については機械設備の更改を中心に26%の先が実施予定としており、横ばいとみています。

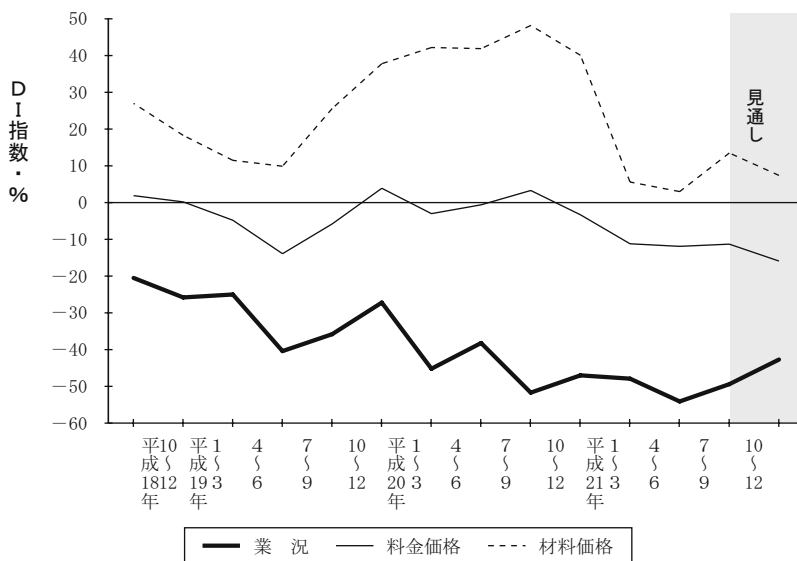
調査員のコメント

- 写真業はメインとなる婚礼写真が毎年減少している。また同業他社との競争でプリント価格を下げたことによって利幅減少となった。(写真業)
- 新型インフルエンザの影響により、修学旅行の中止等あり団体客の取り込みに苦戦している。(温泉旅館業)

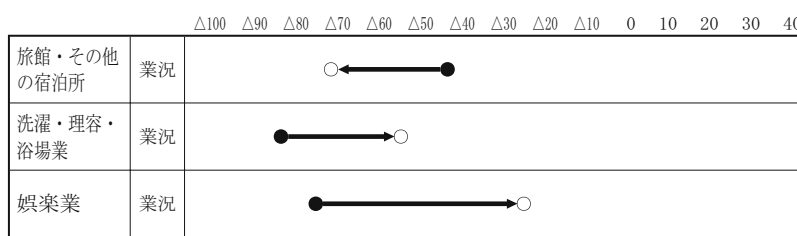
景況の推移



主な指標の動き



業種別業況判断DIの推移 (今期 21年7月~9月) / 前期 21年4月~6月)



経営上の問題点	1位	2位	3位
	売上の停滞・減少(1)	同業者間の競争の激化(2)	利幅の縮小(5)
	63%	44%	18%

当面の重点経営施策	1位	2位	3位
	経費を節減する(1)	販路を広げる(2)	宣伝広告を強化する(5)
	63%	45%	26%

*()は前回順位